

藤原亨先生、白井剛志先生

かなえ医薬振興財団助成金受賞

おめでとうございます！

当科の講師・藤原亨先生と助教・白井剛志先生が、かなえ医薬振興財団助成金を受賞され、平成 28 年 11 月 24 日、ミーティングルームにて授賞式が行われました。

かなえ医薬振興財団は、生命科学分野の斬新な研究の推進を図り、医学、薬学の進歩、発展ならびに国民の医療および保健に貢献するために助成金事業を行っています。

年々応募者が増えているとのことですが、今年度は 700 名以上の応募が集まり、約 60 名が受賞されたそうです。財団の担当者から、そのような厳しい状況の中、1つの医局で2つの受賞ということがどれ程輝かしいことかをお話していただきました。



藤原先生は、「遺伝性鉄芽球性貧血の病態解明と新規治療法の確立に関する共同研究」という研究課題で、アジア・オセアニア交流研究助成金を受賞。

先生は 2013 年にも研究助成金の受賞経験があり、今年で 2 度目の受賞となります。



白井先生は、「細胞内代謝を標的とした炎症性疾患制御法の確立」という研究テーマで、研究助成金を受賞しましたが、15倍という競争の中からの受賞、しかも領域で1位だったそうです。



白井先生喜びの声

(かなえニュースレターNo. 24 に掲載予定)

このたび第45回かなえ医薬振興財団研究助成金をいただき、大変光栄であるとともに、財団、選考委員の先生方に厚くお礼を申し上げます。今回の応募テーマであります“細胞内代謝の亢進”は、腫瘍細胞のみならず炎症細胞でも見られ、その炎症性を決定しうることが明かになってきており、炎症性疾患の制御に今後欠かせない要素となっていくものと考えております。今回の受賞を励みに、新たな治療戦略の発展に寄与できるよう日々精進していきたいと考えております。



お二人の先生方、おめでとうございます。